

## ☆Live Bar雷神Presents : ばぐーす長谷川のロック向上委員会☆

### 『第10回 : 今だからこそ80's』

#### ～バブル期の眩い光と音楽と～

今回のテーマは80年代。バブル期前～真っ只中に世界を席卷した音楽や、世界的レベルではないが私ばぐーすが愛聴/お勧めする名曲達を紹介していきます。

「バブル景気って何だったんだろ？」

このコロナ禍からは考えられないくらい、多くの人が人生を謳歌してきた数年だったかと。そして、多くの人が“本当の自分よりも良く見せよう”とか、多少無理をしても“派手なスタイルでキメたい”とか、ある意味「本来あるべき姿」としては、人間らしくない時代だった気がします。そして、それは音楽も同じ。70年代の音楽は廃れ、そのスタイルは一新され、生の音よりも「如何に派手でカッコいい音楽が創れるか」を競争していたような...だからこそ、そんな見栄っ張りな時代だからこそ、ミュージシャン達は“表で笑って裏で泣いて”の状態から名曲と呼ばれるモノを作り出そうと必死だったのではないのでしょうか。

そういったことが当てはまるかどうかは別として、そういう時代背景にどんな音楽が存在していたのかを、この回でほんの少し掘り起こしてみましよう。

#### ■ブロック覚悟の有名曲

##### 1: The Buggles / Video Killed The Radio Star (The Age Of Plastic : 1980)



80年代と聞いて最初に浮かぶのがStar On 45とThe Buggles..ということで、英エレクトロ・ポップ・デュオ：The Bugglesをオープニングに選んでみた。というか、私個人的に大・大・大好きな作品。名曲「ラジオスターの悲劇」は、The Beatlesの名曲に引けを取らない一世一代の名曲だと私は思っている。そして、世界を席卷したMTVで流れた最初のナンバーでもあり、ポピュラー音楽の歴史の中でも重要な位置を占めている楽曲なのだ。

<https://www.youtube.com/watch?v=W8r-tXRLazs>

##### 2: Hall & Oates / I Can't Go For That (No Can Do) (Private Eyes : 1981)



アメリカが誇るBlue Eyed Soul Duo：Hall & Oatesの10th作。シングルカットされたPrivate Eyesと共にこの曲も全米1位を記録する大ヒットとなり、アルバムも世界中でヒットを記録。

彼らの黄金期を迎えた記念碑的名作である。ポップさとカッコいいグルーブ、そして計算された作品作りは天才的と言っても過言ではないだろう。

[https://www.youtube.com/watch?v=ccenFp\\_3kq8](https://www.youtube.com/watch?v=ccenFp_3kq8)

#### ■Stevie Rayがやって来たBlues Blues Blues

3: Stevie Ray Vaughan and Double Trouble / Pride And Joy (Texas Flood : 1983)



80年代、様々な音楽ファン層にBluesを聴くきっかけを与え、Bluesに光を灯したStevie Ray Vaughan and Double Troubleのデビュー作。この作品と2nd : Couldn't Stand The Weather (1984)により、Bluesに疎い音楽ファンをも取り込んでいったのだ。Stevieのプレイもオリジナル曲も秀逸で、バンド全体が最も勢いに乗っているのが聴いて取れる。

<https://www.youtube.com/watch?v=kfjXp4KTTY8>

#### ■英パンクという殻を破る

4: The Clash / The Magnificent Seven (Sandinista! : 1980)



The Clashの4th作で、パンクという枠を超えたレコード3枚組大作。ロック、レゲエ、ダブ、口カビリー、R&B、ゴスペル、カリプソ等、彼らがやりたいことを詰め込んだ濃厚な作品だ。かなり実験的な作品でもあるが、根底にある「尽きない音楽への興味」や「全てをアウトプットしたい感情」が表れた、音楽愛に溢れる名盤中の名盤と言えるだろう。

<https://www.youtube.com/watch?v=WD5N0rTsuIQ>

5: The Style Council / Homebreakers (Our Favourite Shop : 1985)



Paul WellerとMick Talbotを中心としたThe Style Councilの2nd作。1983年デビュー。ロック、ポップス、ジャズ、ソウルをミックスさせ、様々なジャンルへの愛を曝け出した1stとこの2ndこそ、Paul Wellerの輝く才能が開花した作品と言えるだろう。政治批判に寄った歌詞を秀逸なメロディとアレンジに乗せ、聴く者の心をいまだに熱くさせてしまう名盤中の名盤。

<https://www.youtube.com/watch?v=S-G83Awrw8k>

#### ■ロックは芸術だとあらためて知る

6: Dire Straits / Telegraph Road (Love Over Gold : 1982)



秀逸な音楽性・世界観を持つDire Straitsの4th作。デビュー作となる「悲しきサルタン (1978)」から独特な解釈にてルーツ・ミュージックを推し進めたバンドであり、時代にそぐわない音楽性ながらも絶大なる人気を誇っていた。アルバム全編に渡りドラマティックで重厚な作品に仕上がっており、まるで映画を観ているかのような気分が味わえる素敵な作品である。

<https://www.youtube.com/watch?v=1TTAXENxbM0>

#### ■蘇るベテランHR戦士

7: Slade / Run Runaway (The Amazing Kamikaze Syndrome : 1983)



Sladeの11th作。70年代初期～中期に全盛期を迎え、パンク期到来となる70年代後半で低迷するが、NWOBHM-LA Metalというハードロックの復興と共に息を吹き返し、この作品から2度目の全盛期を迎えることとなる。とにかくゴキゲンな作品であり、誰もが口ずさめるフック満載のメロディは健在。この作品からSladeを知ったファンは多いのではないだろうか。

<https://www.youtube.com/watch?v=gMxcGaAwy-Q>

#### ■俺はロックだ！を叫ぶ

8: Andy Taylor / Don't Let Me Die Young (Thunder : 1987)



Duran Duranを選ぶ代わりに、元DDのギタリスト：Andy Taylorを選んでみた。もちろん名盤。DDではGを弾きまくるシーンは皆無だったが、Soloデビューとなるこの作品の前のPower Stationでの活躍、そしてこのSoloにてしっかりとRockな男の魂を聴かせてくれた。メインストリームなロックを演るAndyのカッコ良さが、100%表現された最高傑作である。

<https://www.youtube.com/watch?v=wTrQWWcmPwE>

#### ■クラシック・ロックのグルーヴ極まる

9: The Cult / Love Removal Machine (Electric : 1987)

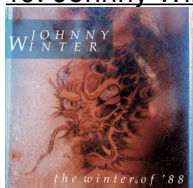


The CultとRick Rubinの奇跡的融合。これぞ超歴史的名盤だ。同時期、ストーンズからRubinにプロデュースの依頼が来たが「俺はまだ若い、だから若い奴と組む」と言って断ったのは有名な話。この作品を聴いた多くのロックバンドがRubinにプロデュースを依頼するようになったのだから、相当魅力的な作品だということが分かるだろう。

<https://www.youtube.com/watch?v=r8YX1kzg5tU>

#### ■80年代サウンドなJohnnyをどうぞ

10: Johnny Winter / Close To Me (The Winter Of '88 : 1988)



MCAレコーズ傘下のボイジャー・レーベルからの唯一作。評価の低い作品でセールス的にも低迷作だが、ロック、ブルース、さらにはHRファンにまで愛される内容を誇る名盤と言えるだろう。プロデュースにZZ TOPやファビュラス・サンダーバズ等を手掛けたテリー・マニングを起用し、Johnnyのワイルド・サイドが存分に伺えるカッコいい作品に仕上がっている。

<https://www.youtube.com/watch?v=jQ0uZJOeP1I>

#### ■80年代ラスト締めくくる傑作

11: King's X / Over My Head (Gretchen Goes To Nebraska: 1989)



黒人はDoug Pinnick1人だが、ブラックロックという枠で語りたくなるKing's Xの2nd作。1988年のデビューから現在まで大きな成功を取めてはいないが、ミュージシャンズ・ミュージシャンとして玄人好きな音を常に提供してくれるバンドだ。80年代をロック暗黒の時代と呼んだ評論家も多いが、このような素晴らしいバンドが80年代に生まれたことに感謝である。

<https://www.youtube.com/watch?v=J2SYPzKzD94>